

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	武蔵野学院大学
設置者名	学校法人 武蔵野学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	夜・通信	16			16	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
 大学 HP→本学の特徴→カリキュラム→シラバス検索→シラバス検索画面の校地「20：武蔵野学院大学」を選択しキーワードに「実務経験のある教員」を入力し検索。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	武蔵野学院大学
設置者名	学校法人 武蔵野学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/information/2020/yakuin.pdf> 大学 HP→情報公開→役員名簿

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2019年2月18日～ 2022年2月17日	財務、組織運営体制 へのチェック機能
非常勤	弁護士	2019年2月18日～ 2022年2月17日	労務・法務、組織運 営体制へのチェック 機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武蔵野学院大学
設置者名	学校法人 武蔵野学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教科目担当教員は、各項目を Web (Musashino Academic Station) 上で入力する。 授業計画 (シラバス) の作成は、2019 年 12 月から 2020 年 2 月にかけて教科目担当教員に執筆を依頼し、その後、執筆された授業計画を教務部及びディスクロージャーの点検を経て、2020 年 4 月 1 日に HP 上に公開している。	
授業計画書の公表方法	学部の授業科目のシラバス一覧 http://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx 「履修の手引き 2020 年度用」(2019 年度入学生用)(刊行物) https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/learning/tebiki2020.1029made.pdf 「履修の手引き 2020 年度用」(2016 年から 2018 年度までの入学生用)(刊行物) https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/learning/tebiki2020.2016-18.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに記載されている「授業評価の方法・試験方法・課題（試験やレポート等）に対するフィードバック等」、「成績評価の基準」、「学習ルーブリック」をもとに成績評価をまとめ、学則第 27 条および第 28 条に基づき、教授会の議を経て、学長が単位及び成績を認定する。 学部の授業科目のシラバス一覧 http://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL/SyllabusKensaku.aspx	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価において『履修の手引き』（刊行物）により GPA の指標を示し、教職員は学生指導や奨学金に対して、成績の分布状況を共有し、指導に役立てている。 $GPA = \frac{4 \times S \text{ の修得単位数} + 3 \times A \text{ の修得単位数} + 2 \times B \text{ の修得単位数} + 1 \times C \text{ の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (「不可」の単位数を含む)}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	「履修の手引き 2020 年度用」（2019 年度入学生用）（刊行物） https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/learning/tebiki2020.1029made.pdf 「履修の手引き 2020 年度用」（2016 年から 2018 年度までの入学生用）（刊行物） https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/learning/tebiki2020.2016-18.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に関する方針を『学位記授与に関する規程』に定め、卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）としてインターネットで公開している。卒業の認定は、学則第 33 条、第 34 条に則り、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） https://www.musashino.ac.jp/mgu/about/policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	武蔵野学院大学
設置者名	学校法人 武蔵野学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html 「財務情報（決算）」についての公表
収支計算書又は損益計算書	https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html 「財務情報（決算）」についての公表
財産目録	https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html 「財務情報（決算）」についての公表
事業報告書	https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html 「財務情報（決算）」についての公表
監事による監査報告（書）	https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html 「財務情報（決算）」についての公表

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		
中長期計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：	https://www.musashino.ac.jp/mgu/about/inspection.html
-------	---

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：	
-------	--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際コミュニケーション学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html ）
（概要） 教育基本法・学校教育法及び建学の精神に基づき、教育を社会との関連において捉え、他者理解を根底においた創造的な知性と豊かな人間性、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度及び高度情報化社会に対応できる諸能力をそなえ、我が国及び国際社会の発展に寄与する主体性のある人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針) https://www.musashino.ac.jp/mgu/about/policy.html ）
（概要） 卒業の認定に関する方針を『学位記授与に関する規程』に定め、卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）として HP で公開している。卒業の認定は、学則第 33 条、第 34 条に則り、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針） https://www.musashino.ac.jp/mgu/about/policy.html ）
（概要） 国際コミュニケーションの知識・理論の学習を通し、実践力を身に付けるための実習を通して国際的な視野をもち、自己や自国文化、及び多様な他者に対する理解力に裏付けられた技能・能力を身に付けることを目的としてカリキュラムを編成している。 なお、カリキュラム変更にともない、2021 年度からの入学者用に新たな教育課程の編成及び実施に関する方針を定めた。 いずれについても、本学 HP で公開している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針) https://www.musashino.ac.jp/mgu/about/policy.html ）
（概要） 本学学則に基づいた「教育目標」、「求める人物像」を提示したうえで、多彩な学生の受け入れを図るべく、多様な入学者選抜方法を設けている。学力の 3 要素をはかるため、各選抜方法を明示している。 詳細は、本学 HP や募集要項で公開している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.musashino.ac.jp/mgu/about/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
国際コミュニケーション学部	－	8 人	6 人	4 人	0 人	0 人	18 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		49 人					50 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：武蔵野学院大学 教員紹介 https://www.musashino.ac.jp/mgu/learning/teacher/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際コミュニケーション学部	120 人	122 人	101%	510 人	497 人	97%	15 人	0 人
合計	120 人	122 人	101%	510 人	497 人	97%	15 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際コミュニケーション学部	63 人 (100%)	5 人 (8%)	47 人 (75%)	11 人 (17%)
合計	63 人 (100%)	5 人 (8%)	47 人 (75%)	11 人 (17%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 教科目担当教員は、各項目を Web (Musashino Academic Station) 上で入力する。 授業計画 (シラバス) の作成は、2019 年 12 月から 2020 年 2 月にかけて教科目担当教員に 執筆を依頼し、その後、執筆された授業計画を教務部及びディスクロージャーの点検を経 て、2020 年 4 月 1 日にインターネット上に公開している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバスに記載されている「授業評価の方法・試験方法・課題 (試験やレポート等) に対する フィードバック等」、「成績評価の基準」をもとに成績評価をまとめ、学則第 28 条およ び第 29 条に基づき、教授会の議を経て、学長が単位を認定する。 学科の授業科目のシラバス一覧 http://portal- k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上 限 (任意記載事項)
国際コミュニケ ーション学部	国際コミュニケ ーション学科	124 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : https://www.musashino.ac.jp/mgu/campus_life/index.html キャンパスライフ
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
国際コ ミュニ ケーシ ョン	国際コ ミュニ ケーシ ョン	700,000 円	200,000 円	210,000 円	施設設備費、施設維持費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1 年次から 2 年次までクラスごとの担任制、3 年次から 4 年次はゼミナール担当制を設け、一人ひとりの学生の学業上の相談や進路指導、生活面でのアドバイスなど、きめの細やかな修学支援体制を整備している。 また、本学独自の奨学金として①在学中の学業成績等により、学費や渡航費を付与する海外研修奨学金、②スポーツ競技において優秀な成績を収めた学生に付与するスポーツ特待生奨学金、③在学中の G P A に基づき学業成績等が優秀な学生に対して付与する特例給付、④総合型選抜や一般選抜等の入試結果、高校の成績等に基づき、優秀な学生に対して学費を付与する特待生奨学金 A・B を設けている。 https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/information/2020/210_mgu_shinshinnokenko-shien2020.pdf
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職・進学等への各種の支援を就職部が行うだけでなく、担任・ゼミ担当・キャリア教育担当等の教職員と関わりながら、将来への道をサポートしている。 https://www.musashino.ac.jp/mgu/carrier_employment/index.html
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室や、保健室にて相談が受けられる。日々の生活等メンタルケアもカウンセリングが受けられる支援体制がとられている。 https://www.musashino.ac.jp/content/files/mgu/information/2020/210_mgu_shinshinnokenko-shien2020.pdf

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.musashino.ac.jp/mgu/information.html 「教育研究上の基礎的な情報」についての公表
--